

KBS
ケイビーエス株式会社

www.kbsjapan.com
e-mail : info@kbsjapan.com
〒544-0033 大阪市生野区勝山北2-16-17
TEL 06-6716-5665 FAX 06-6711-2804

【社内報ナルゲ】
날개 (ナルゲ)とは韓国語で翼(つばさ)を意味します。

SHINAE
nalgae

A HAPPY NEW YEAR!
恭贺新禧
vol. 35
January 2006



映像制作へスタートだ！

明けましておめでとうございます。
縁というのは不思議なものだ。これは偶然というべきか、それとも必然というべきか。

昨年6月、あるイベント会場でビデオ映像を上映している場面を見た。私もビデオカメラや映像に興味があるので、その光景を見た。それを上映していたのが森川さんであった。

森川さんは、長年毎日放送などテレビ放送関係の仕事をしてきた映像のプロだ (<http://www.inbong.com/2004/kaji/>)。その後も、「いきな大阪を造る会」など、何度か森川さんと会うことがあった。

昨年9月に発見された「建国まぼろしのフィルム」(創立当時の白頭学院建国学校や、解放後間もない在日韓国人の様子が撮影されている貴重な記録)の編集作業に、その森川さんに協力をお願いすることにした。森川さんはこれを快く引き受けてくれた。

このフィルムをよりいいものにするには、中身を充実する

ための取材が必要であった。その取材のための映像の撮影にも森川さんに協力してもらうことになった。

編集作業をしているうちに、このフィルムの編集だけでなく、KBSに映像部を立ち上げ、結婚式や還暦などのイベントなどを撮影、編集することにした。

このノウハウを生かし、KBSの仕事と組み合わせることで、KBSの役割の舞台はより広がるに違いない。web関連事業にもこれからは動画がドンドン加わって来る。

これらの技術を先取りして、「KBS映像部」が始動開始するのだ。



「建国まぼろしのフィルム」の編集は、NHKの取材を受けた(2005年12月8日)

会長 高仁鳳

Webでの情報発信、お任せください!

Webと紙、どちらも情報を伝えるメディアです。ケイビーエスでは、外国語の翻訳・組版をメインの業務としていますが、Webでの情報発信のお手伝いもしております。そこでWebでの情報発信についてご案内致します。

▶ ケイビーエスのホームページが開設されて、ちょうど10年が経ちました。

当時を少し振り返ってみると、ホームページで文字が動いたり音が出たりすると、それだけで“なんかすごいなあ”と感じてしまいましたが、すぐにFlash2という技術が登場し、動きのあるホームページは当たり前になりました。それでも通信速度は今より格段



▲開設当時のホームページ



▲現在のホームページ

に遅かったので、ホームページの容量をいかに小さくするかが、大きなポイントでした。JavaScriptも多く取り入れられ、如何に他とは違ったホームページ作りをするかが大きく左右していました。

今では通信環境も整い、当時とはだいぶ環境が異なりますが、一番変わったのはユーザーではないでしょうか。企業のホームページは会社案内がメインだったものが営業のツールに変わり、使い手の認識が大きく変わってきています。そしてブログが大流行りの今、企業の公式ブログなんてのも当然のように出現してしまうのです。

変わったのはユーザーばかりではありません。ホームページの見栄えは変わらなくとも、その中身は日々進歩しています。Webをメディアと考えれば、ユーザーがいなくては機能しません。そこでSEO*対策が必要になり、そしてユーザビリティ、アクセシビリティ*と言ったものが重要視されています。少し前までは便利で使いやすかったタグが、現在では推奨されないタグに変わってしまったり、HTMLはHTMLとしての正確性が要求されるようになりました。またブログが流行ったおかげで、RSS* という新しいスタイルの情報伝達手段が、注目を集めるようになってきています。

***SEO** SEOとは「Search Engine Optimization」の略。日本語では「検索エンジン最適化」といわれている。一般的にはGoogleやYahoo!といった検索エンジンで、任意のキーワードを検索したとき、検索結果の上位に表示されるように、Webサイトをチューニングする技術や手法として知られている。

***アクセシビリティ** 日本国内において、Webアクセシビリティに関する初のJIS規格である「WebコンテンツJIS」(略称)が2004年6月に公示されて以来、関心が高まってきた。Webユーザビリティがサイトの使い勝手に関するものであるのに対し、Webアクセシビリティは、すべての人がそのサイトにアクセスできるか、利用して操作することが可能かどうかのポイントとなる。

***RSS** RSSはブログでよく利用されている。サイトの見出しや更新日時などのメタデータを、構造化して記述するためのXMLフォーマット。それに従って記述された文書がRSSフィード(ファイル)である。1999年、Netscape社によって開発された。その後いくつかの紆余曲折を経て、最近にわかに注目を集めるようになった。

▶ デザインと機能性に優れたウェブサイトを作ります。

さて、ケイビーエスでは、一般的なホームページはもちろん、英語・中国語・韓国語等の多言語への翻訳・制作を行っています。また、FlashやPHP等のダイナミックかつインタラクティブなWebサイト制作もお任せください。

今や当たり前となっているSEO対策やウェブプロモーション等も、国内だけでなく、韓国や中国などの業者とも連携し、「機能するWeb

サイト」づくりのお手伝いをいたします。インターネット先進国、韓国でもトップクラスのウェブ制作技術を持つ(株)BHO社と提携し、優れたデザインで質の高いウェブサイトを制作いたします。

日進月歩で進むネットワークテクノロジーですが、その時々マッチしたホームページ制作を心がけています。お気軽にお問い合わせください。



▲BHO社の協力を得て作成したゴールド工業株式会社のホームページ

▶ お客様のニーズに応じてチョイスする安心サーバー

ケイビーエスでは、お客様の多様なニーズや条件にお応えできるよう、3社のレンタルサーバー会社と代理店契約を結んでおります。機能はそれぞれ違いますが、どのサーバーも稼働率99.9%の実績を誇る、安心サーバーです。

サーバーホスティングサービス

「目的に合わせて選べる多彩なプラン」

多くの実績を誇るCPI、アイル、ラピッドサイトのビジネスパートナーとして、レンタルサーバーの紹介を行っています。

●CPI ホスティングサービス

ギガバイトの高品質サーバーが気軽に使える共用サーバー

●アイルホスティングサービス

目的に合わせて選べる多彩なプラン—5つのパッケージプランとカスタムプラン

●ラピッドサイトホスティングサービス

全てのニーズに応える最先端仮想専用サーバー

韓国語翻訳 李倬魯(이봉노)さん (韓国・ソウル)

最近、日本にも韓国のお正月の風習が多く紹介されているようですが、ここにあまり知られていない面白い風習を一つ紹介しましょう。

韓国のお正月の風習の中に「夜光鬼払い」というのがあります。「夜光鬼」というのは子供が死んだ鬼であり、靴が大好きだそうです。

お正月の夜、天に住む「夜光鬼」が人間世界に降りてきてあちこちを歩き回ります。そして、人家に潜り込み、踏石の上に置いてある靴を履いてみて自分の足に合うと、そのまま逃げてしまうのです。その夜、夜光鬼に靴をとられた人はその1年は不運だといわれています。それで、お正月の夜には、大人、子供、誰ともなく靴を部屋の中や押し入れに隠しておいて寝床につきます。

大晦日の夜に寝ると眉毛が白くなるという言い伝えがあるため、みんな夜更しし、翌日のお正月は朝一番から一日中、チェサ(祭事)だのセベ(年始まわり)だので疲れるためお正月の夜にはみんな早く寝ようになりますが、ここに夜光鬼がやってくるといわれています。

夜光鬼を追払うためには、夜になったら早めに戸締りをしたり、しめ縄を張っておいたり、かんしゃく玉で大きな音を出したりするのですが、多くは篩(ふるい)をかけておきます。夜光鬼は天から降りてきます。夜になると早く戸締りをし、長い竿に篩をかけて門前に立ておくのです。そうすれば、夜光鬼が降りてきて篩を見つけ、篩の目(穴)の多さに驚きます。それで、その目を数えようとしますが、数えては忘れ、数えては忘れ、それを何回も繰返すうちに夜が明け、一番鶏の鳴声に気づき、靴を履くこともできず天に帰ってしまうということです。

つまり、お正月から物を失うと縁起が悪いとの戒めと、お正月にあちらこちらセベ(年始まわり)に疲れたため早く寝かせるための諧謔的な観念が含まれた風習だと思われます。

夜光鬼払い -야광귀쫓기-

요즘에는 일본에도 한국의 설 풍습이 많이 소개되어 있는 것 같습니다. 그래서 여기에 잘 알려지지 않은 재미있는 풍습 하나를 소개하고자 합니다.

한국의 설 풍습 중 하나로 「야광귀쫓기」라는 것이 있습니다. 어린아이가 죽은 귀신인데 신발을 너무 좋아한다고 합니다.

설날밤에 하늘에 있는 「야광」이라는 귀신이 인간세상에 내려와 여기저기 돌아다니다가 인간에 들어가 땀들 위에 놓인 신을 신어보고 자기 발에 맞으면 그대로 신고 달아나며, 이날 밤에 야광귀신에게 신발을 빼앗긴 사람은 그 해 1년 내내 재수가 없다고 합니다. 그래서 설날밤이면 어른 아이 할 것 없이 모두 신발을 방이나 다락에 넣어두고 잡니다.

설날 그믐날 밤에 자면 눈썹이 희어진다고 하여 모두들 늦게 잠자리에 들고 설날에는 아침 일찍 일어나 하루종일 세배하러 다니느라 몸이 피곤하여 일찍 잠을 자기 마련인데 이때 야광귀가 찾아온다는 것입니다.

야광귀를 막기 위해서는, 밤이 되면 일찍 대문을 건어 잠그거나 금줄을 치거나 딱총으로 큰소리를 내어 쫓기도 하지만 대개는 체를 걸어두는 경우가 많습니다.

야광귀는 하늘에서 내려오므로 밤이 되면 일찍 대문을 걸어 잠그고 긴 장대에 체를 걸어 대문에 세워둡니다. 그러면 야광귀가 내려오다가 체를 발견하고 체의 눈이 많으므로 그눈이 몇 개나 되는지 세다가 어디까지 세었는지 잊어버리고 다시 세다가 잊어버리고 하는 사이에 날이 밝아 닭 우는 소리에 신을 신어보지도 못하고 하늘로 되돌아 간다고 합니다.

즉, 정초부터 물건을 잃어버리면 불길하다는 것과, 설날 여기저기 세배 다니느라 피곤하므로 일찍 잠자리에 들도록 하기 위한 해학적인 관념이 포함된 풍습으로 이해됩니다.



韓國のお正月風習の中には門前に篩をかけておくものがあるが...

「篩(ふるい)」
金網・絹布などをつけて粉や液体を濾(こ)すに使う道具。

それは、夜光という鬼を追い払うためである。

ワハハ、
今日は楽しい僕らのお正月だ。

夜光鬼はお正月の夜に人家に潜り込み、人間の靴を履いてみて自分の足に合うと、そのまま逃げてしまうが...

ウフフッ!!
きれいな靴履いたよ~!!!



靴をとられた人はその年縁起が悪いという。

会社から首にされ、恋人にふられ、多額のカードローン、それに喘息...

ところが門前に穴の多い篩をかけておくと...

あっ、穴だ!

靴を履いてみるのも忘れて、穴だけ数えては忘れ、数えては忘れ、それを繰り返すうちに夜が明けて、天に帰るのだ。

二百二十一、二百二十二...
一から数え直し!

昨年は靴をとられて不運だったね。今年はぜひ夜光鬼を追い払わなくっちゃ。しかし篩がなくて... どうしようかな。

仕方ない。これを...

二百二十一、二百二十二、
はじめからもう一度!

※この漫画は筆者から提供されたもので、最近韓国で若い人に人気のある漫画だそうです。(www.dailyzoom.co.kr)



琿春のキリスト教会の入口で

今日は日曜日だったので、教会へ行った。琿春での教会はどんなところか、私の好奇心からだ。
ホチヨルさんは、教会のことに関してはあまり知っていなかった。まず行ったところが、中国人だけの

5 目 目 琿春の教会

韓国語で話をする。このような祝いのやり方はもう本国でもやらなくなっているのではと思う。
いい風景を見せてもらった。



還暦のお祝いに遭遇した

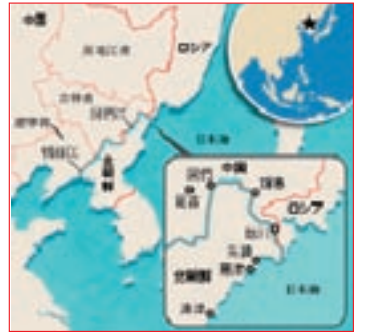
も韓国語で歌っていた。
夜は、ホチヨルさんの家へよばれた。家族といっしょに夕食を共にした。
家にはホチヨルさんの奥さんと小学



朝鮮族の教会の中は信者であふれていた

次に行ったところは、韓国人教会であった。商社マンとか、最近中国にきた人たちが集まる教会だ。
最後に行ったところが、いわゆる朝鮮族の教会で、一番信者も多く、教会堂は信徒たちがはみ出すほどだ。もちろん、韓国語で説教をするし、賛美歌

教会であった。そこは中国語で説教もするし、信者もほとんどが中国人だという。



今回訪れたのは延吉、琿春、防川、中口国境の長嶺子税関などだ

代わりに朝鮮族は、老人節といって、公園で年寄りのための祝賀行事を催していた。
琿春市内から少し離れたところに、「琿春辺境経済合作区」がある。そ



ロシアとの国境沿いで



老人節の祝賀行事

日、光復節だ。
今日は8月15日、韓国なら解放記念日、光復節だ。
しかし、中国ではそんなものはない。

6 目 目 8月15日

校1年の子供、そして奥さんの母がいた。奥さんも働いているので母親が子供の面倒を見ているという。



あたたかい食事のもてなしを受けた

琿春から東北の方へ。タクシーで約1時間の田舎へ行った。
そこには、昔の韓国の田舎らしい、のどかな風景があった。
一軒の家にお世話になった。その家には、おじいさんとおばあさん、二人が住んでいる。
一軒の家と家の周りの畑、合わせて1年間の家賃が2400円(日本円で約4,000円ぐらい)。
「畑で取れる農作物だけでも家賃の何倍にもなる」とおじいさんはいう。
部屋一つだけで、そこに昔ながらの

7 目 目 東北方面へ

らへ行ってみることにした。そこは、日本や韓国などから工場などを誘致して、経済活性化を図ろうとしているところであった。
近くのロシアとの国境に長嶺子税関があり、韓国からの人や貨物の交流が盛んな所ようだ。ちょうど、韓国からの船が着いて、たくさんの人たちが降りてきた。また、乗る人も待合室が狭いぐらいにあふれていた。

ここで、今回の旅行は終わったのだが、感じることは民族や国籍とは、ということだ。
中国に住んでいる朝鮮族は、ウリマル(母国語)が話せる。だが彼らの国籍は中国だ。彼らが言う「祖国のため」とは中国のためだ。それに代わって、在日の国籍は多くが「韓国」または「朝鮮」であるが、ウリマルを話せない人が多いのが現実である。

北京では、川添さんの紹介を受け、蔣幹泉さんがホテルの手配、北京空港へ迎えに来てくれた。
川添さん、蔣幹泉さん、お世話になりました。
琿春に戻り、帰りの荷造りをして、車で延吉へ。延吉から飛行機で北京へ。北京には夕方着いた。この日は日本行き航空便がないので一泊せねばならなかった。
北京では、川添さんの紹介を受け、蔣幹泉さんがホテルの手配、北京空港へ迎えに来てくれた。
川添さん、蔣幹泉さん、お世話になりました。

8 目 目 北京から帰途へ

その晩はその田舎で一つの部屋で全員が一緒に寝た。
どこでも同じだ。朝鮮族はみな情があり、心が温かい。
「おばさんが食事を作ってくれたが、畑で取れる豆で、豆ごはんを作ってくれた。それがとてもおいしい。おかずも、おばさんが「ちよっと待って」といって、畑からキュウリなどを採ってきてくれた。それに、遠くからお客が来たと言ったことで、さつきまで庭で走っていたニワトリ一匹がお膳の上ののっかっていった。
ど

ヨンピョン ファンチュン

延辺・琿春 旅行記

中国朝鮮族のまちを歩く

会長 高 仁 鳳



延辺大学校門の前で(2005年8月11日)

以下のアドレスから、今回の旅行記の写真をたくさん見ることができます。
<http://www.inbong.com/2005/enpen0508/>

今年の春頃、中国朝鮮族の青年から私の「鳳@Dong's page」を見たというメールが来た。
見たという、それは2002年に延辺へ行ったときのページだ。
<http://www.inbong.com/enpen/>
その青年は李ホチュルという。会うことにした。
ホチュルさんは言った。
「延辺に行ったのなら、琿春へは行ったことがありますか」と、
彼は続けて言った。琿春には、韓国ではもうなくなった田舎がまだあるというのだ。

私は琿春には行ったことがない。「それなら琿春に行ってみないか」というと、「行きましよう。私が案内します」との返事。

それで、この朝鮮族の青年、ホチュルさんと琿春へ行くことになった。2005年8月10日から18日までの7泊8日の旅だ。

私たちは北京経由で、まず延吉へ。延吉市は延辺の中心地だ。つまり、大阪府の大阪市のようなもの。

1 目 延吉に着く

延吉には夜着いた。空港に迎えに来たのは、びっくり。なんとパトカーであった。



延辺公安局の前で。ホチュルさんと、その友人と

ホチュルさんの友人が警察官であったので、迎えを頼んだら、勤めが終わって、そのまま来たというのだ。

ホテルにチェックインして、まずは飯だ。さっそく朝鮮料理店へ。

でるわ、でるわ。肉などの量がいっぱい出てきた。しかも安い！
味もおいしい。これで中国での1日目が終わった。

2 目 延辺大学

ホテルで朝食を済まし、延辺公安局へ行った。大阪府警本部のようなところだ。昨日空港に迎えに来てくれた友人に会うためだ。3人で延辺大学へ見学に行った。りっぱな学校だ。入り口



街にはハングルの看板があふれている

の校門には「연변대학(ヨンピョンテハク)」とハングルで書いてある。中に入るといたるところにハングル文字が書かれてある。

しかも聞いたところ、学長も、大学の中心メンバーも、朝鮮族だという。すばらしい！

市場などを見回った。街の看板などがハングルで書かれているので、中国にきた感じでない。本当に韓国のどこかへ来たような錯覚におちいる。

3 目 琿春へ

琿春は中国の一番東端にある。そこは、ロシア国境と北朝鮮の国境に隣接している小さな都市だ。
やたら目に付くのが三輪自転車タク

シーだ。一回乗るのに1元(約30円)で、とても安い。
ホチュルさんはこの地で生まれ育ち、この琿春は彼の故郷だ。



琿春には自転車タクシーが多い

4 目 防川へ

琿春市内から防川まで車で約2時間、豆満江に沿った道を走った。防川からは日本海も見える。

川の向こう側にはロシアと北朝鮮がある。韓国からもよくこちらへ観光に来るといふ。

昼飯はこの豆満江で取れたばかりの川魚や野菜などだ。とても美味しかった。私はあまり川魚は好きではないのだが、これは別だった。

この食堂の前の店がなにやら騒がしい。なんだろうと覗いて見ると、そこでは「還暦祝い」をしているのだ。

私はさっそくビデオを回した。

その模様は昔の韓国の田舎での祝い事の様子を彷彿とさせる。司会者がいて、電子楽器の伴奏もあり、楽しい雰囲気であった。司会者は完全に韓国語で話をする。もちろん、他の人たちも



写植の思い出

営業企画部 上間行洋

今から30年ほど前、組版の主流は写真植字機であった。タイプライターが盤面上に並べられた鉛の活字を一文字一文字つかんで紙に打ち込む代わりに、盤面上に配置された文字を写真撮影して印画紙に焼き付けるといふ、素人目にもうなずけるほど簡単明瞭な原理であったが、これを考え出した人は偉いと当時は感心したものだ。

この写真植字機(写植機)の利点は、まず前時代のタイプライターよりも遥かにシャープな文字を打ち出せることが一つ、そして文字のサイズを、レンズを変えることによって20種類以上も用いることができ、しかも更に別のレンズをかますことによって平体や長体、斜体など、豊富な文字バリエーションが得られる。また、丈夫なビニール系の印画紙に印字されるので、後工程の版下作業(フィニッシュワーク)の時に、切ったり貼ったり剥がしたり、何度繰り返しても簡単には破けたりしないので、非常に扱い勝手が良いのも大きな特徴だったろう。

こう書いてしまえば、いとも簡単に組版ができる構造になっているような気がするのだが、ところがである。この機械を扱うにはまず文字盤の文字配列を覚えなければ仕事にならない。「一寸ノ巾(いっすんのはば)……」と呼ばれる文字配置を繰り返し暗唱し、左手でスムーズに、打ちたい文字の上にカメラの照準が来るように運ぶと同時に右手でシャッターとなるレバーを引き下ろすことによって1文字が印字される。これを意図する方向に続けていけば1行の文が出来上がる。

初めて自分で印字して、それを現像して、写し出された文字をみてびっくりした。自分のような字を書くのがへたくそな者が打っても、実にきれいな文字が出来上がる。当たり前のことではあるが、此の時は相当感動した。早くパンパン打ち出して、いろんな組版の成果が見たいと意気込んだものだった。

写植オペレーターは「早く正確に」を目標とするが、あまりあわてるとミスショットをして、



1982年頃の写植作業風景

後工程の版下マンに迷惑をかける。オペレーターのマナーとして、間違いに気づいた時には、訂正に必要な文字を欄外に打っておく(版下さんゴメンネ、お願いします。の気持ちで)。写植というものは一但間違っただけで打ち込んだら、それを消して打ち直すことは出来ない。一からやり直すか、あるいは版下さんに、貼りかえてもらうしかないのである。表組みの罫線の上に文字を乗っけてしまうこともしばしばあるのである。

なんととっても写植オペレーターの究極のねらいは、後の版下さんの手を借りない無修正、

一発回答の組打ちである。これをやりとげるには、しっかりとした計算と相当な集中力が要求される。当時はオペレーターが自分自身で割付もしていたので、書体、文字の大きさ、字詰め、行長、行送り、変形など、少し凝って組版に変化をつけようと思えば、その都度文字盤の載せ替え、レンズの変更、字送り歯車、行送り歯車の設定といった機械的な操作と、異級数の行頭揃え、ベースライン揃え、植木算、行頭行末揃えの端数処理などの計算作業もついてくるので、ほんとに集中していないと一発の答えだしは出来ない。

その上、写植機では、打ち出した文字が明朝体であれ、ゴシック体であれ、7級の文字であれ、100級の文字であれ、点字盤上の点でしか表わされないの、常に自分の意図をはっきりと描いておかないと、後になって点字盤上の座標を見ても、それは全てを表わしてくれるものではないのである(いつも半分見えていない状態で作業をしているのである)。級数表と電卓を駆使して、仕事のスピードと正確な組版を目指していたのが当時の写植オペレーターだったのである。

やり直しが効かない当時の写植を思うとき、現在のパソコンによるDTPはやり直しなど自由自在、それどころか、写真やイラストなども同時に組み込んで、何通りものバリエーションを思いのままに表現できるのだから、オペレーターのやりがいも、昔より数段大きなものがあると思う。集中力よりも、創作意欲が求められるのが、現在の組版ではないだろうか。



韓国ドラマにハマる中年世代

制作部 稲木隆文

「冬のソナタ」が日本で放送されてから約1年。飽き性の日本人のことだから、韓流ブームなんてすぐに終わるだろうと思っていたのに、ブームが終わるところかほとんど新しい俳優や歌手が注目されています。

当初、ヨン様(ペ・ヨンジュン)にしか興味がなかった主婦たちも今ではイ・ビョンホン、グォン・サンウ、リュ・シウォンなど、タイプや好みが分かれてきたようです。

韓国の歌手、俳優さんを見ていてふと気づいた事があります。それはパク・ヨンハ、BOA、リュ・シウォン、チェ・ジウなど“えくぼ”のある人が多い事です。えくぼは笑

顔が強調されて、とても優しい柔らかな印象を与えるので、親しみを持ち感情移入してしまいます。

最近では、韓流ブームは主婦たちだけに留まらず、主婦から影響を受ける夫たちも巻き込んでいます。チェ・ジウから始まり、今はイ・ヨンエ(チャングム)、ソン・イェジン(4月の雪)が好きだと言う人も少なくないのです。

夫婦そろっての韓流ブームは中年世代の生活を変えてしまいました。「2人で初めての海外旅行は韓国へ行くんです。」と国内旅行よりリーズナブルで短時間でいける外国ということもあって韓国へ行く夫婦が後をたちません。

そして、日本の食卓にも当たり前のように韓国料理が並ぶようになりました。我が家も例外ではありません。妻もチヂミ、チャブチェ、プルコギを作るようになりました。

ドラマを通じて知る韓国の文化には、日本人が持っていたはずの礼儀、恥じらい、謙虚な心があり、中年世代が親に厳しくしつけられていた頃を思い出すのです。今の羞恥心を失いつつある日本人(特に若い世代)にはないものを見ることが出来るので、これからも日本で韓流ブームが続いていくことでしょう。

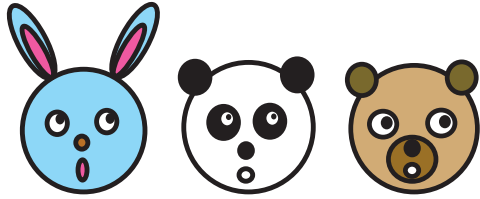


最近、色々な場面で「佳代子さんはイラストが上手でいいね。」と言われます。私自身は上手に描いているつもりはないのです。単に絵を描くということが好きでいい。そして、芸術大学へ進学したことも理由の一つですが「絵を描く」という作業のコツを知っているだけなのです。自転車に乗る練習くらいの要領で誰でも絵は描けます。今回、絵を描くことのちょっとしたコツを皆さんにお教えいたします。

まず、万人に好かれる絵というのは難しいですが、不快感を与えない絵を描くコツはあるのです。皆さんご存知のミッキーマウスですが、良く見ると殆どが曲線で構成されています。そう、直線的な絵よりも曲線で描いた絵の方が人々から受け入れられやすいのです。このコツを生かして実際に円だけでイラストを描いてみましょう。

全てのモチーフを円だけで描く事は難しいですが、「曲線を多く使うと安心感がある。」という事を念頭に置いてイラストを描いてみると、いつもと違うイラストが描けるのではないのでしょうか？

絵を描く作業において、色々コツはありますが、最大のコツは「どうせヘタだから…」と言ってくよくよせずに、描きたいものをのびのびと描く事です。



曲線を意識したイラスト

한국의 결혼문화

翻訳部 申 惠 程

日本에서는 초대할 인원수를 정하고 거기에 맞추어 청첩장을 보내지만 한국에서는 그냥 많은 사람들에게 청첩장을 보낸다. 물론 일본과 같이 청첩장을 받으면 정식으로 참석여부를 알리는 습관도 없으며, 굳이 청첩장을 받지 않아도 결혼식에 갈 수 있다. 이처럼 평소 알고 지내던 많은 사람이 결혼식장에 와서 축하해 주기를 바라는 마음, 그것이 바로 한국의 결혼 문화이다.

그렇다면 '어떻게 자리 배정을 하고 식사를 준비할까' 하는 궁금증이 생길 것이다. 그래서 생겨난 것이 한국만의 식권문화이다. 결혼식장에서 신부측 혹은 신랑측에 축위원을 건네면 리셉션에서 식사를 할 수 있는 식권을 준다. 호텔에서 결혼식을 하는 경우가 아니면 보통 결혼식장과 식당이 분리되어 있어 결혼식이 끝난 다음 식당으로 이동해 식사를 하는데, 이때 받아 두었던 식권을 내고 식사를 한다. 식권이 없으면 식사를 할 수 없는 경우가 있기 때문에 한국의 결혼식에 참석할 경우에는 같이 간 가족의 식권까지 꼭 챙기도록 하자! (웃음)



韓國の結婚文化

日本では結婚式に招待する人数を確認し、その人数に合わせて招待状を送るが、韓国ではそのまま人々に結婚式の招待状を送る。もちろん日本のように結婚式に参席するなどの旨を伝える返信などの習慣もない。そして、結婚式の招待状をもらわなかったとしても結婚式に行くことができる。知り合いだった人々が多数、結婚式場に来て祝う。それが韓国の結婚文化である。

それなら「どんな風に参席者の食事を準備するのだろうか?」と疑問に思うだろう。そこで生まれたのが、韓国ならではの食券文化である。結婚式場で新郎側あるいは新婦側にお祝い金を渡すと、引き換えに食事ができる食券が渡される。ホテルで結婚式をあげる場合を除けば、通常は結婚式会場と食事をする場所(食堂)は分かれている。式が終わった後に食堂へ移動して食事をするのだが、この時が受付時にもらった食券の出番である。食券がなければ食事ができない場合があるので、韓国の結婚式に参加する場合には一緒に行った家族の分の食券まで必ずもらっておくようにしよう! (笑)

発行日 2006年1月1日

発行/編集 ケイビーエス株式会社
〒544-0033
大阪市生野区勝山北2-16-17
電話 06-6716-5665
FAX 06-6711-2804
E-mail info@kbsjapan.com
URL http://www.kbsjapan.com/

制作メモ 使用アプリケーション
Adobe InDesign CS
Illustrator 8, Illustrator 10
Photoshop CS, Acrobat 6

編 集 後 記

● 普段はメールでデータを納品する業務の多いKBSですが、年末は印刷物として納品するお仕事の依頼を多くいただきます。昨今では、ネットで情報を得ることが多くなってきましたが、やはり紙面に掲載された情報は、開いた時のドキドキ感や、「手元に置いておけばいつでも見れる」といった安心感があります。新しく便利なものを活用し、古き良き慣習を大事にする、そういった当たり前のことを、「印刷物」を通して感じるようになりました。(カデチャ)

● 携帯型オーディオプレーヤーが大流行だ。なんといっても、AppleのiPodの人氣がダントツで、いまや日本国内市場でも約60%に拡大したという。私のまわりでも持っている友人が多い。Appleの元気がいいことはMacを主体にDTP作業をしている私たちにとっても大変心強いことだ。私もiPodではないが、mp3プレーヤーを買った。すいぶん昔に買ったウォークマン以来だ。どんどん曲が入るし、録音できるし、なんと言っても小さくて軽い。今一番のお気に入りには韓国ドラマの音声だ。ヒアリングの勉強にはうってつけで、聴き取れない部分があっても何度もくり返し聞くのが楽しみである。(sute)

第4回
似てる？
似てない？

——いろいろな漢字語

KBSまだん韓国語講座講師

益田 治

韓国の印刷物や掲示物を見ると、そのほとんどがハングル(「ハングル」というのは文字の名前で、韓国語を指しているものではありません。ですから最近よく耳にする「ハングルの話す」というのはありえません。)で表されていますが、韓国語とは一体どんな言葉なのでしょう。よく、日本語と似ているといわれますが、一体なにが似ているのでしょうか？

実は韓国語には、漢字で表すことのできる言葉がたくさんあるのです。ハングルの発明される以前には漢字を使っていたので、当然といえます。「空港」、「市場」、「地下鉄」のように日本語と全く同じ漢字を用いている単語もあります。韓国の漢字の言葉には中国から来たり、韓国で考えて作られたりしたものもありますが、日本語とよく似ていると思われる言葉の多くは、植民地時代に日本から持ち込まれたものなのです。

今回は漢字の言葉についてみてみます。分類

してみると、次の5つの種類に分けることができます。

- ①同じ漢字を用い、読みも似ているかほぼ同じもの
온도(溫度=溫度)、기온(氣溫=氣溫)、약속(約束=約束)、계산(計算=計算)、산수(算數=算數)、감사(感謝=感謝)、무리(無理=無理)、무시(無視=無視)
- ②同じ漢字を用いるが読みは違うもの
회사(會社=會社)、비행기(飛行機=飛行機)、안경(眼鏡=メガネ)、친절(親切=親切)、전화(電話=電話)、식당(食堂=食堂)、시장(市場=市場)、화장실(化粧室=トイレ)、출장(出張=出張)
- ③漢字の用い方が微妙に違うもの
생일(生日=誕生日)、약혼(約婚=婚約)、문(門=戸)、고생(苦生=苦勞)、우체국(郵便局=郵便局)、효도(孝道=孝行)、예절(禮節=禮儀)、숙소(宿所=宿舎)
- ④まったく違う漢字を用いるもの
책(冊=本)、책상(冊床=机)、공책(空冊=ノート)、편지(便紙=手紙)、접수(接受=受付)、우표(郵票=切手)、생각(生覺=考え)、공부(工夫=勉強)、인사(人事=あいさつ)、친구(親舊=友達)、시작(始作=始め)
- ⑤訓読みの日本語漢字をそのまま音読みしたもの
입구(入口=入口)、출구(出口=出口)、수화물(手貨物=手荷物)、대합실(待合室=待合室)

창문(窓門=窓)

以前は新聞などに漢字が使われていた時期もありましたが、看板などに漢字を使うのは禁止されていました。しかし最近では看板や本の表紙などで漢字をよく見かけるようになりました。いずれにしても、韓国固有の言葉だと思っていたものが漢字で表すことのできる言葉だと思うと、韓国語がグッと身近に感じられませんか？ それに漢字は韓国では音読みだけで、しかもほとんどがひと通りの読み方しかありません。1つの漢字でたくさん音読みや訓読みを覚えなければならない日本語とは大違いで、1つの読み方でどこまでも使い回しできます。例えば「生活」も「誕生」も「一生」も「生ビール」も全部「生(セン)」です。漢字の言葉をうまく活用して韓国語力のアップをはかってみては？



次なる野望に向けて…

高 允 男

昨年何かと事件や災害の多い一年でしたが、今年こそは明るいニュースが増えるといいですね。

さて、私が最近一番悩んでいることは、KBSの社屋のことです。

KBSは1968年の創業当時、私の家の中にありました。つまり、自宅兼会社という、いわゆる「町工場」です。

そして、会社の規模が少し大きくなり、1977年、自宅から少し離れたところに移転しました。以来30年近く、ずっとこの地で営業しています。

KBSに来たことのある方はお分かりでしょうが、KBSの社屋は2階建ての長屋です。何度か増改築を繰り返しているの

で、見た目にはわかりにくいですが、建物自体はかなり古いものだそうです。

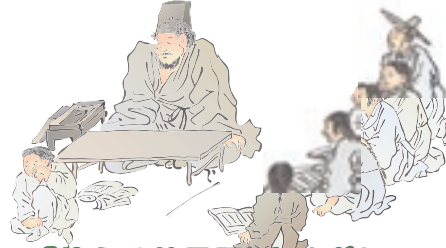
社内の空間が1階と2階、また同じフロア内でもいくつかに分断されており、コミュニケーションが取りづらく、不便です。電話線や、LANのケーブルを配線するのも一苦労です。

お客様と打ち合わせをする応接スペースが少ないのも悩みの種です。複数の来訪者が重なったときは、お客様に不便な思いをさせているのではないかと、申し訳ない気持ちになります。

そういうわけで、現在、会社の移転を真剣に考えております。どこかに安くてもいい物件、ないですかね…(笑)。

TAGENGO SPACE
KBSまだん 마당

楽しい韓国語講座



「使える韓国語」をめざして

☆木曜日 PM7:00~9:00

現在、会話中心に行っています。

*受講ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

hangul-net.com

☎06-6716-5665

【個人情報の取扱について】

この社内報「ナルゲ」は、弊社の様子をお知らせするために、お取引先・外注先・協力関連先の皆様にお送りしております。
ケイビーエス株式会社は、お客様の個人情報を合理的かつ適切に管理し、業務の目的以外に使用いたしません。また、法令に基づき開示が義務づけられるなどの特段の事情がない限り、第三者に開示・提供することはありません。
当社が管理するお客様自身の個人情報について、お客様から内容確認、修正・更新・削除の要請を受けた場合には、お客様の意思を尊重し、合理的な範囲で必要な対応をいたします。
当社は、お客様の個人情報の保護に関する法令・規範を遵守すると共に、その取り扱いについては、適宜その見直しと改善に努めます。

お知らせ

過ぐる年も格別のお引立とご愛顧を賜りまことに有難うございます。弊社では2006年1月より完全週休2日制を実施することになりました。なにとぞご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。
なお、年末年始の予定は、下記のとおりです。
12月29日(木)~1月4日(水) 年末年始休業日
1月5日(木) 仕事始め(午前中)
1月6日(金) 平常どおり
1月7日(土) 土曜休業